

自治体の風水害対応マネジメントフレーム（概要）

業務プロセス		プランニングプロセス							危機対応プロセス						評価プロセス		改善プロセス					
		戦略設定プロセス		事業領域のリスクの洗い出し & 被害想定を作成	リスクアセスメント		自治体の計画策定		実行部隊の計画策定		危機の認知			本部長指針の付与	危機対応			進捗状況の把握	分析評価	業務改善	システム改善	組織能力向上
					各リスクの分析	各リスクの評価 (優先順位)	リスク対処構想の策定	各部隊の任務の決定	任務付与	計画立案支援	リスクの気付き	気付き情報の分析評価	報告通報		優先対処リスクの決定	オペレーションの選択	オペレーションの実行					
状況(危機レベル)		事業領域の設定		基本方針の決定	行動指針の決定																	
潜在リスクの段階		ミッションの確定	原則の確立	組織目標の確立	事前準備	事業領域ごと、被害想定を作成し、リスクアセスメントを行い、その結果から、優先順位が高いリスクに対するオペレーション計画の作成				<ul style="list-style-type: none"> <li>●対応プロセス処理のシュミレーションを行い、各プロセスの実行手順を検証し問題点を発見</li> <li>●シュミレーションの機会を活用し組織としてのプロセス処理訓練を実施し、処理能力の向上を図るとともに改善点を把握</li> </ul>						シュミレーションで発見した問題の原因を解明し、プロセス処理の課題を把握		シュミレーションを通して発見した改善課題を処理				
危機が顕在化していく段階	対象地域が、台風の120時間後の予報圏に入った状態				風水害の警戒防御	台風動向に関する事実情報に基づき、リスクアセスメントをの見直しを行い、その結果から、重大リスクを判定し、オペレーション計画を修正				事実情報に基づき直接被害の発生危機を認知し、リスク評価を実施して最良の対策を選択実行することにより、「風水害防御事業」目標を達成						残留リスクを把握し、次の事業に反映する課題を抽出		一連のプロセス実行を通して発見した改善課題を処理				
	対象地域が、台風の48時間後の予報圏に入った状態				住民の警戒避難	風水害防御事業終了後の台風動向に関する事実情報に基づき、リスクアセスメントをの見直しを行い、その結果から、重大リスクを判定し、オペレーション計画を修正				事実情報に基づき人的被害の発生危機を認知し、リスク評価を実施して最良の対策を選択実行することにより、「住民避難事業」目標を達成						残留リスクを把握し、次の事業に反映する課題を抽出		一連のプロセス実行を通して発見した改善課題を処理				
危機が顕在化して緊急事態に発展する段階	対象地域が、台風の暴風圏に入った状態				緊急事態対処	住民避難事業終了後の台風動向に関する事実情報に基づき、リスクアセスメントをの見直しを行い、その結果から、重大リスクを判定し、オペレーション計画を修正				事実情報に基づき人的被害の拡大危機を認知し、リスク評価を実施して最良の対策を選択実行することにより、「緊急事態対処事業」目標を達成						残留リスクを把握し、次の事業に反映する課題を抽出		一連のプロセス実行を通して発見した改善課題を処理				
台風が通過し、緊急事態が終息した段階								応急復旧	緊急事態終息後に発生する社会不安情勢に基づき、リスクアセスメントをの見直しを行い、その結果から、重大リスクを判定し、オペレーション計画を修正				事実情報に基づき社会不安の蔓延危機を認知し、リスク評価を実施して最良の対策を選択実行することにより、住民の行政不信を解消し、「応急復旧事業」目標を達成						最終的な結果を評価		一連のプロセス実行を通して発見した改善課題を処理	